

# 全てのオフィスで紙ごみのゼロエミッションを目指して国内初! 全国ペーパーリサイクルシステムを構築しました



富士通グループは、機密文書と一般古紙類を全国統一基準でリサイクル処理する「全国ペーパーリサイクルシステム」の運用を開始しました。これにより全てのオフィスにおける紙ごみのゼロエミッションを達成し、環境負荷低減のみならず、セキュリティリスク低減、処理コスト削減を実現します。

## ペーパーリサイクル ～革新へのアプローチ～

紙のリサイクルは森林資源保護と廃棄物減量の点から環境問題の重要なテーマであり、企業にとって欠かせない取り組みです。オフィスのペーパーレス化は進むものの、ビジネスではまだ紙文書を使用することが多く、古新聞や段ボールもかさむ一方で。

富士通グループではこれまでも積極的な紙ごみのリサイクルに取り組んできましたが、グリーンオフィス制度<sup>※1</sup>の目標・達成に向けて現状調査をした結果、対象オフィスにおいて約20%のオフィスが機密文書、約30%が一般古紙類のリサイクル化未達成であること、オフィス毎に回収・処理方法が異なる等の課題が明らかになりました。地球環境保全を経営の最重要事項の一つと位置付ける富士通では、これらの課題解決と紙ごみのゼロエミッション<sup>※2</sup>の実現へ向け、長野地区における先行トライアルを経て、全国統一のペーパーリサイクルシステムを構築し、運用を開始しました。

## 巡回回収と統一基準でゼロエミッション達成へ

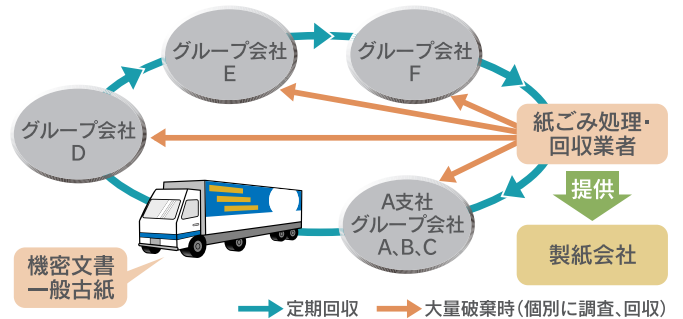
回収周期・方法のばらつきを改善するため、富士通グループの近隣オフィスで回収時期をあわせて巡回回収することで運搬の効率化と環境負荷低減を実現。さらに

機密文書と一般古紙類を同じ仕組みで処理することにより、ゼロエミッションを可能にしました。機密文書の処理方法については全国統一の基準を設け、高いセキュリティレベルとリサイクル性を確保しました。

今後は富士通の79事業所、富士通グループ53社276事業所、10工場へ適用していきます<sup>※3</sup>。このような全社的な取り組みは環境負荷低減への貢献だけでなく、運搬費や処理費用のコスト削減、セキュリティリスクの低減という点からも重要な役割を担います。

今後は処理方法、セキュリティ状況を定期的に監視・指導・支援することで継続的なシステム強化に取り組み、環境負荷のさらなる低減に努めてまいります。

### ■ ペーパーリサイクルの流れ



- ※1 富士通グループの全オフィスを対象に、環境配慮のレベルアップをねらった社内制度。
- ※2 廃棄処分時に単純焼却、埋め立てをゼロにすること。
- ※3 拡大対象範囲は、支社・支店におけるオフィスのみ。

富士通グループはチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

次号予告 2009年6月発行

注目のソリューション 「リスクマネジメント」

**FUJITSU JOURNAL**  
富士通ジャーナル

発行 富士通株式会社  
マーケティング本部 eマーケティングビジネス部  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2  
(汐留シティセンター)  
印刷 富士通アプリコ株式会社

本誌ならびに本誌掲載の製品・サービスに関するお問い合わせ先

富士通コンタクトライン TEL 0120-933-200  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL <http://jp.fujitsu.com/about/journal/contact/>



※本誌記事中のプログラム名、CPU名、システム名等は各メーカーの商標、または登録商標です。  
※本誌に掲載されている内容については、取材時点によるものです。  
※本誌は、森林認証紙を使用しています。また、印刷インキは大豆インキを使用しています。

©富士通株式会社2009 本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。  
Copyright ©2009 by FUJITSU LIMITED

WE0017-2009年5月AP